

オウムガイ

分類：四鰓目 オウムガイ科(頭足類)
 学名：*Nautilus Pompilius*
 英名：Nautilus

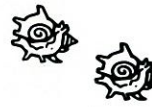
フィリッピンからニューギニアにかけての熱帯海域に分布し、海流にのり遠隔地に運ばれる。日本では房総半島に漂着した記録がある。タコ、イカと同じ頭足類に属し、古生物のアンモナイトと近縁で巻貝状の殻をもつ。貝殻はやや扁平で表面は乳白色で鮮やかな赤褐色の縞模様が横にならび、内部は真珠光沢が美しい。貝殻の長径は20cm位、イカ、タコには吸盤があるが、オウムガイにはなく、腕の数はタコ、イカ類より遥かに多く、一部は長く伸びて、魚やカニを捕食するのに役立つ。外套膜に入った水を強く吐き出し、その反動で前進する。



右に同じ

オオベソオウムガイ *N. macromphalus*

左に同じ



アオイガイ(カイダコ)

分類：八腕目 カイダコ科(頭足類)
 学名：*Argonauta argo*
 英名：Paper nautilus

全世界の熱帯から温帯にかけて分布し、雌は白味をおびた半透明のプラスチック状の船型の殻をもつ、この殻は雌の背部の一对の腕から分泌された液体で作られ、この中に産卵し哺育するので、哺育室のようなものである。殻は薄くて軟かく、手で簡単に押し潰せる。頂部はやや巻いている。殻の大きさは直径約20cm位、漏斗と呼ばれる水管から水を噴射させて、ジェット推進を行う。食餌は肉食性で、表層近くの小型の甲殻類や稚魚を捕食する。ケープタウン北西方のビンナガ及びメバチマダロの漁場で50kgのメバチマダロの胃の中より殻付きのまま損傷を受けない個体を採集した記録があるので、大型魚には捕食される。



すかし縦

すかし横